

第1回 平成5年度 受賞者

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

興梶 金長（宮崎県高千穂町）

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

山形県榊引町（黒川能）

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

徳永 正弘（熊本県山鹿市）

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

島袋 光史（沖縄の伝統芸能振興）

受賞者 プロフィール

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

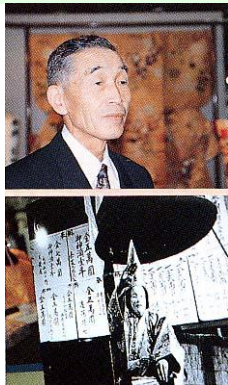
興梶 金長（宮崎県高千穂町）



興梶（こおろぎ）さんは明治四十年生まれの八十歳。天の岩戸開きの舞で有名な【高千穂の夜神楽】を昭和元年からならい始め、現在、最長老の祝子者（ほしゅ）である。高千穂神社境内の神楽保存館で毎晩行われている〈神楽公開〉に、昭和四十七年の初年度から現在までおよそ延べ五百回出演するなど、夜神楽の保存、伝承、活用に重要な役割を果たしてきた。

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

山形県榊引町（黒川能）



黒川能は、山形県黒川地区の春日神社の神事能として、五百年にわたり、すべて農民の手によって伝えられてきた。榊引町は、これまで社殿など屋内で演じられてきた黒川能を野外水上ステージで演じる【水焔の能】を実現するなど公開活動を通じ、黒川能の保存、発展に努めてきた。

また、人形、地酒、食品、織物、農産物などの商品を開発し、観光・商工業の振興に多大の貢献を重ねてきた。

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

徳永 正弘（熊本県山鹿市）



徳永さんは鹿灯籠祭りに用いられる山鹿灯籠づくりの第一人者。山鹿灯籠は金具を一切使わず、和紙と糊だけで作られることや、柱や障子にいたるまで中が空洞であることなどの特色があり、灯籠の種類には、城づくり、宮づくり、鳥かご、矢壺などがある。徳永さんは熱心に後継者の指導をしている。

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

島袋 光史（沖縄の伝統芸能振興）



島袋さん（73歳）は、国指定の重要無形民俗文化財保持者（地方太鼓）として、長年にわたり、沖縄の伝統芸能、とくに琉球舞踊の古典音楽、組踊、地方太鼓などの発展に力を注いできた。